

# 平成27年度 桜台小学校「豊かな心の育成」推進プラン

## 中期学校経営方針「豊かな心」達成目標

道徳の時間はもとより、たてわり活動など皆のためになる実践を通して、一人ひとりの自尊感情を育み、「思いやり・認め合い・支え合い」の心を育てます。

## 児童の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

全体的にみると、素直で、言われたことを受け入れることができる。校内ではあいさつもよくする。自分で考え進んで行動するという点に課題を感じる。

26年度横浜市学力学習状況調査の生活意識調査(自己意識)では、「あいさつを自分からしている」意識は全学年で高い。また、「自分にはよいところがあると思う」という自己肯定感が、昨年度に比べ全学年で高くなった。しかし、「一生懸命取り組んでいることがある」という意識が低い学年があり、また、「人の気持ちを考えて行動するようにしている」意識が若干低い学年があった。

## 「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・全教育活動を通して道徳教育の充実を図る。
- ・たてわり活動の充実を図り、異年齢集団活動を通して、思いやりの心や協力する心を育て、人の気持ちを考えて行動する意識を高めるようにする。低・中学年では、係活動や当番活動を通して、自主的に一生懸命取り組む意識を育てたい。
- ・Y-P アセスメントをもとに、子ども社会的スキル横浜プログラムを実施し、意思決定や問題解決能力などの向上を図るとともに、だれもが安心して豊かに過ごすことができる学級・学校風土をつくる。

### 指針1 「道徳の時間」の充実

- ・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の「道徳の時間」との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行う。
- ・全学級の道徳の授業を家庭・地域に年1回以上公開する。
- ・家庭や地域での様子(あいさつ等)について、アンケートで子どもの実態把握を行い、道徳の時間に生かす。

【視点1】

### 指針2 体験活動の充実

- ・「たてわり活動」「児童会活動」「クラブ活動」などの異年齢集団活動を、より自主的、意欲的に行うことができるようにする。 【視点3】
- ・学校生活をよりよくするための組織である「係活動」や「当番活動」に自主的に取り組むことができるように、自分たちで計画を立て運営できる力を育成する。
- ・小学校での学びを見通したうえで活動のねらいを設定し、校外の豊かな自然や文化に触れる「集団宿泊体験」を充実させる。

### 指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・子どもの社会的スキル横浜プログラムの指導プログラムを意図的計画的に実施し、系統的な子どもの社会的スキルの育成を図る。 【視点7】
- ・Y-Pアセスメントをもとに児童理解研修の実施により、学級の課題改善や子ども個人の課題改善に向けて校内指導体制を整え、「だれもが」「安心して」「豊かに」過ごすことができる学級風土作りができるようにする。